

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第717号（十一月号）表紙

- ・冬の季語：「落葉（あるいは、木の葉）」（三冬・植物）
- ・来月号（十二月号）の兼題です。



<落葉>晩秋から冬にかけて、落葉樹はすべて葉を落とす。散った木の葉ばかりでなく、木の葉の散る様子も地面や水面に散り敷いた様子も表わす。堆肥にしたり、焚き火にしたりする。

<木の葉>地面に落ちてしまった葉、あるいは梢にわずかに残っている枯葉をいう。木の葉が散るさまやその音には哀愁が漂う。

季語「落葉」あるいは「木の葉」を詠った有名俳人の句に以下のようなものがあります。

- ・常寂光浄土に落葉敷き詰めて／高濱虚子
- ・木の葉降りやまずいそぐないそぐなよ／加藤楸邨
- ・風というもの美しき落葉かな／小杉余子
- ・むさしのの空真青なる落葉かな／水原秋櫻子
- ・落葉して木々りんりんと新しや／西東三鬼
- ・木曾路ゆく我れも旅人散る木の葉／臼田亜浪
- ・高きよりひらひら月の落葉かな／日野草城

\*\*\*\*\*

☆前月の清記表に記載の中から選ばれた高得点句（5点以上）

- ・前月の清記表に記載された16名の112句のなかから互選で高得点を獲得した句です。
  - ・弁慶が一際目立つ菊芝居／甲舟 . . . . . 7点
  - ・木の実落つ天守につづく石畳／史浩 . . . . . 7点
  - ・宝永の火口の影や秋深む／穂心 . . . . . 6点
  - ・かなかなの鳴いて二人の夕餉かな／勝 . . . . . 6点
  - ・焼きそばとカレーの匂ひ秋祭／緑汀 . . . . . 5点
  - ・狛犬に弾かれてゐる木の実かな／緑汀 . . . . . 5点

\*以下は4点句（惜しい！もう少しで5点）です。

- ・瀬戸の海漁火遠く流れ星／六甲
- ・菊の鉢並ぶ無人の駅舎かな／穂心
- ・読書灯消してたちまち虫の声／温州
- ・銘品を捜して秋の陶器市／穂心

\*\*\*\*\*

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の18名
- ・昭和38年（1963年）結成 . . . . . 約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年（2022年）6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名（高商32名、高商教授1名、大学39名）

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋（大学17期）（俳号：穂心）  
メールアドレス：[suishin2010@dream.ocn.ne.jp](mailto:suishin2010@dream.ocn.ne.jp)／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
  - ・山下 勝（大学14期・前編集者）（俳号：勝）  
メールアドレス：[yama723@nifty.com](mailto:yama723@nifty.com)／携帯：090-1349-6727
  - ・平林 義康（大学20期）（俳号：温州）  
メールアドレス：[hirabayashi9497@yahoo.co.jp](mailto:hirabayashi9497@yahoo.co.jp)／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上

（文責：平林 温州）